

第6次高浜市総合計画推進会議（第3回） 会議録			
日 時	令和4年9月20日（火）午後7時00分～7時45分		
場 所	市役所 会議棟	傍聴人数	0名
出席者	委 員	中川幾郎、石川多恵子、菅野洋一、後藤恵理、都築美穂、平井吉弘、横山英樹、宮田克弥、深谷直弘 (9名出席)	
	行 政	高浜市長 吉岡初浩 教育長 岡本竜生 総務部長 杉浦崇臣 市民部長 岡島正明 福祉部長 磯村和志 こども未来部長 磯村順司 都市政策部長 杉浦義人 (7名出席)	
	事務局	企画部長 木村忠好 総合政策グループ リーダー 榊原雅彦 同 主 査 祖父江佑介 同 主 任 柘植一馬 同 主 事 嶋本花凜 同 主 事 東端佑奈 (6名出席)	
次 第	1 あいさつ 2 報告 3 議題 1) 「施策評価シート」について 2) 施策評価シートの提出文（案）について 4 その他		
資 料	資料1：施策評価シート【令和3年度の取り組みに対する評価】 【案】 資料2：第6次高浜市総合計画の推進に向けて 【案】		

1. あいさつ	
中川幾郎会長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日もご多忙の中お集まりいただきましてありがとうございます。 ・ただいまから、第3回第6次高浜市総合計画推進会議を開会いたします。 ・本日の内容は、これまで実施してまいりました令和3年度施策評価の締めくくりということでございます。 ・施策評価シートの推進会議による点検確認結果欄の内容について協議、ご承認をいただき、推進会議からの提言という形で施策評価シートの冊子を市長に提出してまいりたいと思います。 ・本日もスムーズな議事進行にご協力くださいますようお願いいたします。

2. 議題	
1) 「施策評価シート」について	
中川幾郎会長	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、議題1の施策評価シートについてということではありますが、推進会議の点検・確認結果欄の確認をしております。 ・第1回と第2回の推進会議において、委員の皆様から頂戴しましたご意見を、施策評価シートのローマ数字V、点検・確認結果に事務局の方でまとめて記載していただいております。 ・その内容について、基本目標ごとに区切って確認していきます。追記や修正があればこの場で確定していきたいと思っております。 ・まず、基本目標Iについて他に付け加えることはありますか。
	(意見・質問等なし)
中川幾郎会長	<ul style="list-style-type: none"> ・では、基本目標Iの点検・確認結果については、原案のとおりでよろしいか。
	(異議なし・承認)
	(以下、基本目標II～目標全般についても同様に 意見・質問等なし、異議なし・承認)
中川幾郎会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。それでは、事務局は、この原案、修正なしということで、冊子を完成させていただくようによろしくお願いします。
2) 施策評価シートの提出文(案)について	
中川幾郎会長	<ul style="list-style-type: none"> ・施策評価シートの冊子をこの後市長へ提出しますが、提出の際につける鑑の文章の案を事務局が作成しましたので、事務局から読み上げていただきます。
事務局	(資料2の本文を読み上げ)
中川幾郎会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいま、読み上げていただきましたが、言い回しなど、直した方がいいといったご意見があればお願いします。 (意見等なし) ・では、原案どおりということではよろしいでしょうか。 (異議なし・承認)
中川幾郎会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、後ほど施策評価シートの提出となりますが、提出に先立ちまして、

	委員の皆さんの想いを受けて取組みを進めていくことになりましたので、行政へ皆さんからメッセージを送っていただきたいと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今回この総合計画に携わって、いろいろ市の取組みを聞いたことで、市の取組みを自分ごととして情報を受け取る力をつけさせていただいたのかなと思います。 ・これからもいろんな取組みをされていくと思いますが、そういったものを上手く受け取って、活かしていき、日々の生活を充実したものにしていきたいと思っています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間参加させていただき、いろいろと行政の話聞き、問題点などを気付かせていただきまして、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。 ・いろいろ見させていただいた結果、これから大変問題が大きくなっていくと思います。 ・少子化問題はほとんど解決していません。出生率が現在 1.3。2.05 で人口が維持できる水準。そのような大問題が山積しております。 ・またこのコロナによって、ずたずたになったところに、物価の値上げが来まして、市民からの税収が増えるというような状況ではないかと思っています。 ・今後はできるだけ国からお金を引っ張ってほしい。消費税についても 100 円のが 120 円になったら自ずと増えていきます。そういったことを鑑みて、市民をなるべくケアしていただけたらと思います。 ・皆さんのお力で解決していただけるように、陰ながら応援しておりますので、よろしく願いいたします。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画の 1 1 の目標はほぼ達成できていると解釈しています。パーセンテージ自体はそんなに減りもしないし大きく伸びもしない。今後は、このパーセンテージでずっといくのだろうかというところに、もう今来ているのではないかと思います。 ・ちょうどこれで 7 次に切り替わっていくので、新しい計画の中にこれがどういうふうに反映されていくのかというのが、一番興味のあるところです。 ・指標については、作り方でどんどん数字が変わってくるのだろうかと思っていますので、あまり気にしなくてもいいという気がしています。 ・6 次の推進会議の中では、ほぼ意見が出尽くされていて、行政がしっかりやってくれているということがはっきりしています。 ・あとは、行政から地域に投げられたものを、市民や地域がどう応えていくのかということをごどこかで検証していただけるとありがたいと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回勉強させていただいている気持ちで会議に参加させていただきました。 ・このような会議で、行政の方々の仕事に対する視点とか向き合っている姿を知って、私にできることは何だろうと考えさせられました。 ・家族や近所ですべきこと、市民としてすべきことは何だろうということをもっと教えてもらいたいなと思いました。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の実施により、私たちの生活は安定して、年々よくなってきております。 ・新しい目標をつくって進めるということは難しいと思いますが、新しい世代が案を出していただいて、どんどん進めていただきたいと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私も推進会議に参加させていただかなければわからないこと、気づかないことがすごくたくさんあったと思います。 ・行政の方がすごく一生懸命やっているのも、前に進んでいるのもわかったので、これからもいろいろなものを見て、いろいろなことを考えていきたいと思っています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・評価のまとめをみますと、防災訓練に参加したことがある人の目標値が達成できていません。 ・昨日、台風 14 号で大きな災害はありませんでしたが、これについてはもう一度やり方を変えて、何とか参加している人が増えるようにしていただきたいと思います。 ・評価シートについて、課題解決に向けた方向性が次年度どういうふうを活かされて、どういうふうにつながってきたのかというのが課題ごとにわかればよいなと思います。
副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・実績等の数字が、どうしてこんなに低いのかという思いもありますが、アンケートに答えていただいた方の素直な数字なのかなという思いもあります。 ・本当に多くの市民の方に情報共有が図られているのかというのがすごく課題であると考えます。 ・行政もいろいろなことをやっていく中で、市民に正確に伝わっていかないと施策に対する評価というのは得られないのかなということを思っております。 ・この評価シートのコメントの中にも書いてあり、住民団体、産業分野もそうですが、担い手の不足というところが大きな課題だと感じます。我々も毎年 10 名ほど職員が入庁するが、新しく入ってきた職員を早く育てていかなければならないなと感じます。 ・各市民団体などにおいても、地域の担い手としてきちんと支えていけるような人材の育成が必要になってきます。 ・住民の方たちに少し自分の手の届く範囲で勉強していただくような仕掛けをするのが、行政なのかそれは地域なのかわかりませんが、そういったところも、今後の大きな課題なのかと思いました。
中川幾郎会長	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員からいただいたご意見はすべて本当にそのとおりだと同感いたします。 ・特に都築委員がおっしゃった、情報を受け取る力を鍛えられたというのは、すごく感動的な言葉だと感じました。 ・横山委員も行政がよく頑張っていることが分かるということをおっしゃり、市民や地域の責任だという言葉が、私はすごく印象的であります。 ・平井委員から出生率低下への危機感、財政的に豊かだからと安心せず、財政資

源を取りに行くという考え方はよいと思います。国の補助金とか、民間の補助金を取りに行くというのは、専門の部署をつくってもいいぐらいの話です。

- ・宮田委員がおっしゃった、災害に強いまちをつくらなければならないということ、また、深谷委員がおっしゃった新しい代に伝えていくべきものをもっと大事にしようなど、これらをいかに上手く住民に伝えていくかということが大きな課題だと思います。
- ・団体自治の力は数字にして出す指標があるけれど、住民自治の力を測定する指標が統計上ありません。これは高齢化率であるとか、出生率とかから推定していくしかありません。
- ・新しい資本主義の概念でいう社会的関係資本という概念で測定するべきではないかという経済学の理論があります。
- ・これは何かというと 1 人当たりの人間が持っている人間関係の信頼できる関係の本数、それが資本であるという考え方で、住民の中にその関係がどれぐらい蓄積されているかということ測定していくという、ロバート帕特ナムが提唱している概念があります。この資本概念を使うべきところに、住民自治の力がきていると思います。
- ・そういう意味では、高浜の団体自治の力は、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債比率、将来負担比率など、こういうものに関しては非常に優秀な数字を出しているわけです。
- ・しかしながら、もう一つの財産である住民自治の基盤はどんどん崩れていっているのではないかと皆さん考えていると思います。今後はその危機感を少し科学的に克服していくような方策を考えるべきではないだろうか。
- ・2 年前、A 県 B 市の総合計画審議会では会長を務めており、計画の答申の際に記者会見に出席しました。その時点で B 市は、近畿圏 2 府 4 県の中で住みたいまちの第 2 位でした。そのことについて問われたので、この数字はあっという間に悪化しますと言いました。ベスト 2 と有頂天になっていると 50 位以内にも残らないだろうと、そういう危機意識を持ってこの計画を渡します、と言いました。
- ・調子がいいと思っている時、実は地獄への一歩手前だということです。現実には、それから 2 年たった今、50 位以内にも入っていません。様々な数字はどんどん悪化していきます。
- ・そういう現実ですから、統計的に数字というのは客観的に安定して見られるけれど、印象とか住みやすさとかそういうイメージ調査というのは、本当にいい加減なものだということです。高浜は好感度の高いまちというところでは、非常に高いレベルですが、裏づけられた数字をもっと大事にしてほしいなと思います。
- ・そういう意味で行政経営はしっかりしています。しかしそれは団体自治がしっかりしているということであっても、住民自治がしっかりしていることには

	<p>なりません。これは誰の責任なのかといったら双方の責任だと思っています。住民自治が弱ってきているというのは、住民側にも責任はあるけれども、市民として生きていく教育というのを受けていない。それをもう一度回復していくべきです。そのためには、暇と金と体力と家族に恵まれた、元気な人ばかりが楽しめるような社会対応の政策を全部やめることです。そうではなくて、その人たちが市民として、他者のために生きること喜びを感じるような、そのような教育をもう一度回復するべきじゃないか、そのために今の資源を活用せよと私は思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それが私の次の第 7 次に向けた願いです。以上が私の今日の見解です。チャンスはまだあると思います。 ・それともう一つ付け加えますと、神戸市は急速に人口を失っています。隣の明石市は急速に人口を延ばしていします。まちとしての利便性で言えば、明らかに大阪圏に近い神戸市のほうが利便性は高い。都市としての土地の価格も高い。それなのになぜ明石市に急速に人口が増えていくのか。 ・なぜかという、明石市は住民自治と一緒に、団体自治が動いているということです。明石市は若いまちですが、まちづくり協議会を編成し直して、もう一度まちの再生のため、挑戦し直しています。なので、子育て期の人たちは、うわさを聞いて、あそこなら子どもが育ちやすい、住みやすいということで、どんどん神戸市から移っています。中には大阪圏から移っています。そういう都市間競争がまた始まっています。私は都市間競争の中に高浜はいると思っています。次の勝負は住民自治の活性化だと思っています。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは市長へシートの提出をお願いします。 (会長：提出文を読み上げて市長へ渡す) (渡しているところの写真撮影) ・続いて市長から感謝状の贈呈を委員の皆様へ贈呈を行います。 (各委員へ市長から感謝状の贈呈) ・市長より一言、委員の皆様へお礼を申し上げます。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さん本当にありがとうございました。 ・長きにわたり総合計画の推進に、多くの意見をいただき、ご尽力いただいたことに感謝申し上げます。 ・中期から引き続きの方もおみえになりますし、前期から会議に入っていた方もおみえになります。 ・それぞれ皆さんの思いの詰まった、私にとっても初めにつくった総合計画で、この総合計画と一緒に高浜市政を進めてきたかなと、非常に感慨深いところがあります。 ・見ていただくと分かる通り、「みんなで」とか、「手をつなぐ」とか、今までの総合計画にない、あまり聞いたことのないフレーズが総合計画の中にちりばめられています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・高浜市を支えていく方たちが一生懸命前に進めていっていただける、そんな将来都市像を描いてきましたが、肝心のその部分は第 7 次にも引継ぎ、もちろん大家族たかはまという思いはつなげていきます。 ・今日たくさんのご意見をいただいたように、「第 7 次総合計画にどうつなげていくのか」、「課題をどう解決していくのか」、そういったことを職員と一緒に検討し、市民の皆さまからご意見を伺いながら進めていきたいと思います。 ・今後第 7 次総合計画が始まってまいります、どんな形であれご参加、ご協力をいただいて、高浜市を共に盛り上げていっていただくことをお願い申し上げます。誠にありがとうございました。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・では最後に、今後もさらに市民・行政と一緒に高浜をよりよいまちにしていくぞという想いを込め、記念撮影を行います。 (委員、市長写真撮影) ・その他として連絡があります。 ・今年度の第 6 次推進会議はこれで終了となりますが、次年度に総括を行うため、相談させていただく可能性があります。